

# 徒然なる日記121021～奮い立た せること～

E-book推進協会

## 奮い立たせること

---

秋が深まり、冬に向かうにつれて、寒くなる。やる気が減退する時期だ。それは自然の摂理だから仕方ない。仕方ないと思いつつそれに抗い、怠け心を奮い立たせて、「よしやるぞ」と気合を入れる。

そうしたほうがいい。でも頭で分かっている、なかなか行動に移せない。こたつを出すほどの寒さになってしまえば、なおさらそうだろう。そして行動に移せたら万事オーケーではない。その行動、やる気が持続するのはせいぜい数時間で、次の日はまた新たに気合を入れる必要がある。

初発心百千万発という言葉をお釈迦様が残したらしい。「らしい」というのは、昔、10年ぐらい前に、旅先の箱根の寺で聞いたおぼろげな記憶の中の言葉だから。そのときの説明によれば、一生の間に、「よしやるぞ」と奮起する「発心」をお釈迦様でも百万回、千万回はやるというもの。たぶん、説明を聞き間違えたかして、正しい理解ではないが、なんとなく腑に落ちたから、それで勝手に納得している。それで、朝や日中、腑抜けた自分を駆り立たせる。「お釈迦様でもやる気はそんなに長くは続かないんだから」と半ば自分を慰めながら、半ば叱咤しながら。

きっかけや目的がないとなかなか気合も入らない。自分なら、好きな音楽や漫画に触れたり、将来の夢、熱い人を想起したりして、気合を入れる。人それぞれ違うだろう。

秋は本当、何をやるにもちょうどよいから、怠けるのにもちょうど良い。ある意味、いろいろ他人と差がつく季節。

そして、年末に向け、長い意味で気合を入れなければいけない時期。10月からは1年を締めくくる大事な3カ月だ。その10月ももう下旬。いやあ早い。光陰矢のごとし。肝に銘じて気合入れて生きよう。

2012年10月21日記す